

合格者のみなさま（保護者様）へ

拝啓 この度は東京海洋大学海洋工学部への合格おめでとうございます。

私ども海洋会はみなさまの同窓会です。

ご入学されるみなさまには、是非ご入会をお願いいたします。

「海洋会とは」については、説明資料（6 頁～）や会誌「海洋」抜粋記事（24 頁～）等をご覧ください。幸いです。

お子様の大学生活が楽しく有意義なものとなりますよう、心から応援しております。

敬具

2025 年 2 月吉日

一般社団法人 海洋会

135-0044

東京都江東区越中島 2-1-6

東京海洋大学越中島キャンパス内

TEL.03-6458-8215 FAX.03-6458-8214

E-mail : honbu@kaiyo-kai.com

<https://www.kaiyo-kai.com/>

目次

- ◆入会申込について・・・・・・・・・・ 2 ページ
 - 入会申込方法
 - 入会申込書の記入例
- ◆海洋会について・・・・・・・・・・ 6 ページ
 - 海洋会の説明
- ◆会誌「海洋」抜粋記事・・・・・・・・ 24 ページ
 - ・ 新年のご挨拶 [海洋会会長 関根博]
[東京海洋大学 海洋工学部長 元田慎一]
 - ・ 明治丸の活躍の軌跡
 - ・ うみそら研の紹介
 - ・ 東京海洋大学 海事普及会 気仙沼における「海と船の教室」
 - ・ 越中島カッター部 OB・OG 会
 - ・ 女性航海士の航海記
 - ・ 母校だより

◆入会申込について ※申込方法は A もしくは B でお願いします。

A. ネットから申込む ※①もしくは②をお願いします。

① QR コードから申込む



② 下記の URL から申込む

https://www.kaiyo-kai.com/register/register_top.html

<注意点>

・ 卒業年は予定年をご記入願います。

B. 入会申込書に記入して申込む

手順：①次のページ(P 3 ・ 4)の『入会申込書』を印刷

②入会申込書を記入例に従って記入

③ レターパックライトに、他の手続き書類とともに同封してください。

海洋会に入会申込（入会申込書）が到着しだい、会費振込用紙をお送りいたします。

（在学生（准員）会費は 10,000 円です） よろしく願いいたします。

ご不明点等ございましたら、海洋会までご連絡をください。

入 会 申 込 書

私は貴会の趣旨、目的に同意し、正会員（在学中は准員）として入会を申し込みます。

※太線内のみご記入ください

氏名（必ずふりがなをつけて下さい）		生年月日	性別
		西暦	
学校・学科	東京海洋大学 海洋工学科		
(○で囲んで下さい)	海事システム工学科 (海洋大 NN)		
	海洋電子機械工学科 (海洋大 EE)		
	流通情報工学科 (海洋大 L)		
入学年月	2025 年 4 月		
現住所	〒 Tel : Fax :		
送信先メール			
予備メール			
携帯番号			
実家住所 (親元)	〒 Tel :		

入会年月日	入力日		チェック
		印	印

会員番号

会費区分	請求書発送区分	海洋発送区分
()	()	()

准員：国立大学法人東京海洋大学 海洋工学部の在学中で、
本会の目的に賛同した者

【個人情報の備考】

個人情報の取扱いに関する同意書

一般社団法人 海洋会では、「入会申込書」に記載し当会にご提供いただく個人情報の管理について、適切な安全対策を講じ、漏洩、滅失およびき損が生じないようにいたします。つきましては、下記の内容をご理解いただき、同意の上で個人情報を提供くださるようお願いいたします。

1. 個人情報保護方針

- ・海洋会は会員個人情報の取得を適切な手段で行い、個人情報の利用は、本会の活動目的を達成するために必要な範囲に限定し、利用目的を超えた利用、提供は行いません。
- ・海洋会が保有する個人情報への不正アクセス、紛失、改ざん、および漏洩などのリスクに対し、合理的な安全対策を講じます。
- ・会員から個人情報の開示、訂正、提供範囲の変更や削除を依頼された場合は、合理的な範囲で、すみやかに対応します。
- ・個人情報に関して適用される法令、規則を遵守するとともに、内部規程を継続的に見直し改善を図ります。

2. 個人情報管理に関する問い合わせ窓口

一般社団法人 海洋会事務局 個人情報管理責任者
〒135-0044
東京都江東区越中島 2-1-6
東京海洋大学越中島キャンパス内
Tel : 03-6458-8215 Fax: 03-6458-8214
E-mail: honbu@kaiyo-kai.com

3. 個人情報の利用目的

本会の定款に定める各事業を行うために、個人情報を取得し利用します。
以下に主要な具体例を紹介します。

1) 本会の事業運営のため

- ① 会誌、その他文書・書類の発送のため
- ② 講演会等の参加申込案内送付のため
- ③ ウェブ版会員名簿作成、サービス提供のため

注: ウェブ版会員名簿は次の項目を表示します。
自宅住所以降の項目は個別に公開の範囲

を右の欄で選択できます。
(公開の範囲は随時選択し直せます)

氏名、性別、学校・学科、卒業年

自宅住所、同電話番号、同 FAX 番号、メールアドレス、携帯番号、勤務先名、同所属・役職、同住所、同電話番号、同 FAX 番号

- ④ 印刷物の会員名簿作成、サービス提供のため
(ウェブ版を利用されない会員向け)
- ⑤ その他本会事業実施に伴う会員への連絡のため

2) 会員の福利厚生等のため

- ① 会員相互の連絡仲介のため
〔例〕同期会開催の支援〕
- ② 会員葬祭時の弔電・連絡等物故者管理のため
- ③ 正会員及び准員の就職支援等のための会員との連絡、母校との連携業務のため

3) 本会の管理業務のため

- ① 会費等の納入管理のため
- ② 社員選挙など本会の運営管理のため
- ③ 個人情報に基づく本会運営の意思決定のため
〔会員分析 例〕年齢、地域、卒業校、学科、職種等〕

4. 第三者への委託

個人情報データベースの管理業務は、ワンネットシステム株式会社に委託します。

以上

平成 30 年(2018 年)3 月 19 日改定

公開範囲の設定欄

個人情報の各項目について、公開の範囲を選択してください。会員名簿に掲載する個人情報は、この選択にもとづいて公開または非公開になります。
公開の範囲（三者択一）は次のとおりです。

- A : 全会員に公開
- B : 同学科同期に公開
- C : 非公開

設定欄（A B C いずれかを ☒ するか○で囲む）

個人情報の項目	公開の範囲		
① 自宅住所 ……	A ☐	B ☐	C ☐
② 自宅電話 ……	A ☐	B ☐	C ☐
③ 自宅FAX ……	A ☐	B ☐	C ☐
④ 送信先メール ……	A ☐	B ☐	C ☐
⑤ 予備メール ……	A ☐	B ☐	C ☐
⑥ 携帯電話 ……	A ☐	B ☐	C ☐
⑦ 勤務先名 ……	A ☐	B ☐	C ☐
⑧ 同 役職 ……	A ☐	B ☐	C ☐
⑨ 同 住所 ……	A ☐	B ☐	C ☐
⑩ 同 電話 ……	A ☐	B ☐	C ☐
⑪ 同 FAX ……	A ☐	B ☐	C ☐

選択完了

※以下の同意書に日付、ご住所、お名前をご記入ください。

同意書

一般社団法人 海洋会殿

私は、個人情報を提供するに際して、上記の個人情報の取扱いに同意いたします。

西暦 年 月 日

住所

氏名

印

入会申込書の記入例

一般社団法人 海洋会 御中			入会年月日		入力日		チェック	
入会申込書			私は貴会の趣旨、目的に同意し、正会員（在学中は准員）として入会を申し込みます。		印		印	
※太線内のみご記入ください								
氏名（必ずふりがなをつけて下さい）			生年月日		性別		会員番号	
かいよう はなこ			西暦		女			
海洋 華子			2005 年 8 月 30 日					
学校・学科			東京海洋大学 海洋工学科					
(○で囲んで下さい)			海事システム工学科 (海洋大 NN)					
			海洋電子機械工学科 (海洋大 EE)					
			流通情報工学科 (海洋大 L)					
入学年月			2025 年 4 月					
現住所			〒135-0044					
			東京都江東区越中島〇〇-〇-〇					
			Tel : 03-6458-1234 Fax : 03-6458-9876					
送信先メール			honbu@kaiyo-kai.com					
予備メール								
携帯番号			090-1234-5678					
実家住所（親元）			〒253-0056					
			神奈川県茅ヶ崎市共恵****					
			Tel : 04**-****-****					
令和 7(2025)年 1 月 24 日改定								

会費区分	請求書発送区分	海洋発送区分
()	()	()
准員：国立大学法人東京海洋大学 海洋工学部の在学中で、 本会の目的に賛同した者		
【個人情報の備考】		

個人情報の取扱いに関する同意書		
一般社団法人 海洋会では、「入会申込書」に記載し当会にご提供いただく個人情報の管理について、適切な安全対策を講じ、漏洩、滅失およびき損が生じないようにいたします。つきましては、下記の内容をご理解いただき、同意の上で個人情報を提供くださるようお願いいたします。		
1. 個人情報保護方針		
・海洋会は会員個人情報の取得を適切な手段で行い、個人情報の利用は、本会の活動目的を達成するために必要な範囲に限定し、利用目的を超えた利用、提供は行いません。		
・海洋会が保有する個人情報への不正アクセス、紛失、改ざん、および漏洩などのリスクに対し、合理的な安全対策を講じます。		
・会員から個人情報の開示、訂正、提供範囲の変更や削除を依頼された場合は、合理的な範囲で、すみやかに対応します。		
・個人情報に関して適用される法令、規則を遵守するとともに、内部規程を継続的に見直し改善を図ります。		
2. 個人情報管理に関する問い合わせ窓口		
一般社団法人 海洋会事務局 個人情報管理責任者		
〒135-0044		
東京都江東区越中島 2-1-8		
東京海洋大学越中島キャンパス内		
Tel : 03-6458-8215 Fax: 03-6458-8214		
E-mail : honbu@kaiyo-kai.com		
3. 個人情報の利用目的		
本会の定款に定める各事業を行うために、個人情報を取得し利用します。		
以下に主要な具体例を紹介します。		
1) 本会の事業運営のため		
① 会誌、その他文書・書類の発送のため		
② 講演会等の参加申込案内送付のため		
③ ウェブ版会員名簿作成、サービス提供のため		
注：ウェブ版会員名簿は次の項目を表示します。		
自宅住所以降の項目は個別に公開の範囲を 右の欄で選択できます。 （公開の範囲は随時選択し直せます）		
氏名、性別、学校・学科、卒業年		
自宅住所、同電話番号、同 FAX 番号、メールアドレス、携帯番号、勤務先名、同所属・役職、同住所、同電話番号、同 FAX 番号		
④ 印刷物の会員名簿作成、サービス提供のため （ウェブ版を利用されない会員向け）		
⑤ その他本会事業実施に伴う会員への連絡のため		
2) 会員の福利厚生等のため		
① 会員相互の連絡仲介のため 〔例〕同期会開催の支援		
② 会員葬祭時の弔電・連絡等物故者管理のため		
③ 正会員及び准員の就職支援等のための会員との連絡、母校との連携業務のため		
3) 本会の管理業務のため		
① 会費等の納入管理のため		
② 社員選挙など本会の運営管理のため		
③ 個人情報に基づく本会運営の意思決定のため 〔会員分析 例〕年齢、地域、卒業校、学科、職種等		
4. 第三者への委託		
個人情報データベースの管理業務は、ワンネットシステム株式会社に委託します。		
以上		
平成 30 年(2018 年) 3 月 19 日改定		
※以下の同意書に日付、ご住所、お名前をご記入ください。		
同意書		
一般社団法人 海洋会 会員		
私は、個人情報を提供するに際して、上記の個人情報の取扱いに同意いたします。		
西暦 2025 年 3 月 20 日		
住所 東京都江東区越中島〇〇-〇-〇		
氏名 海洋 華子		
印		



海洋会とは？

同窓会組織

会員数約3,078名

2025年 105歳

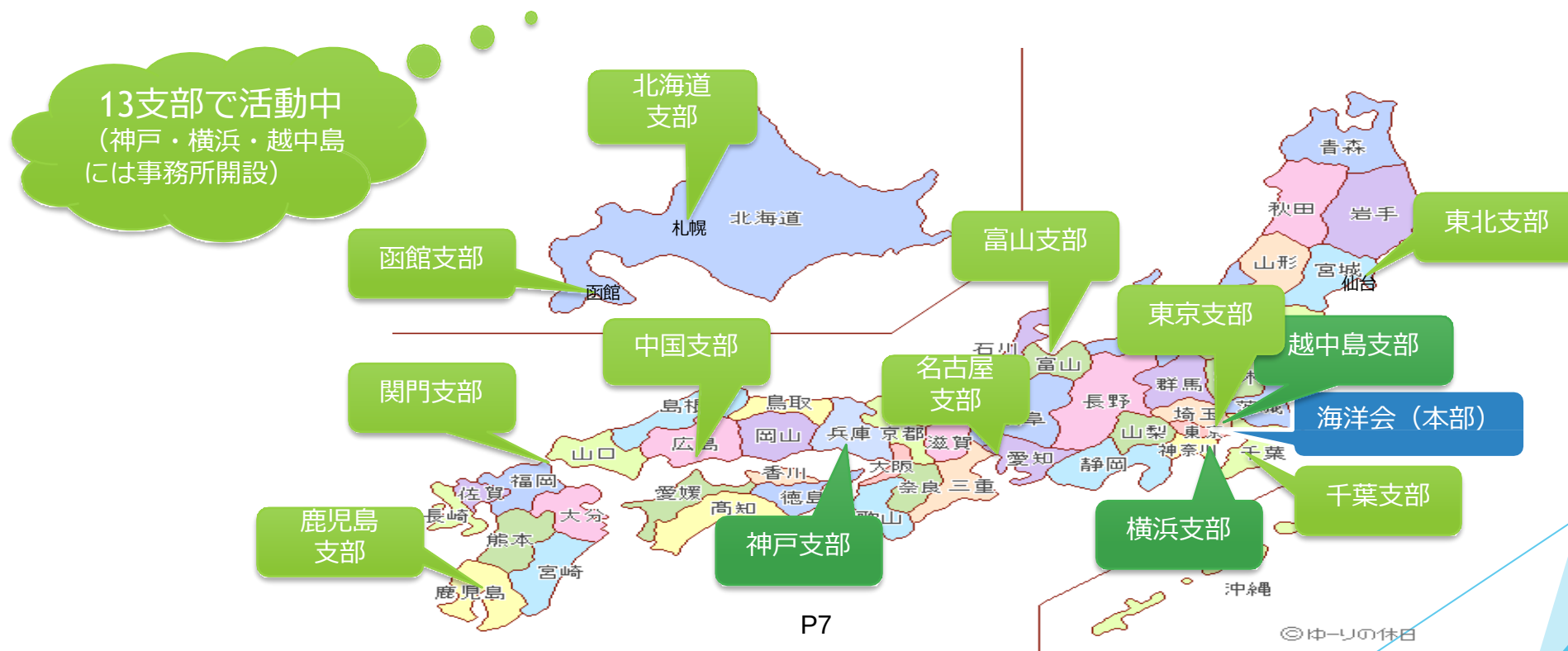
P6

創立（1920年）

105年

現在（2025年）

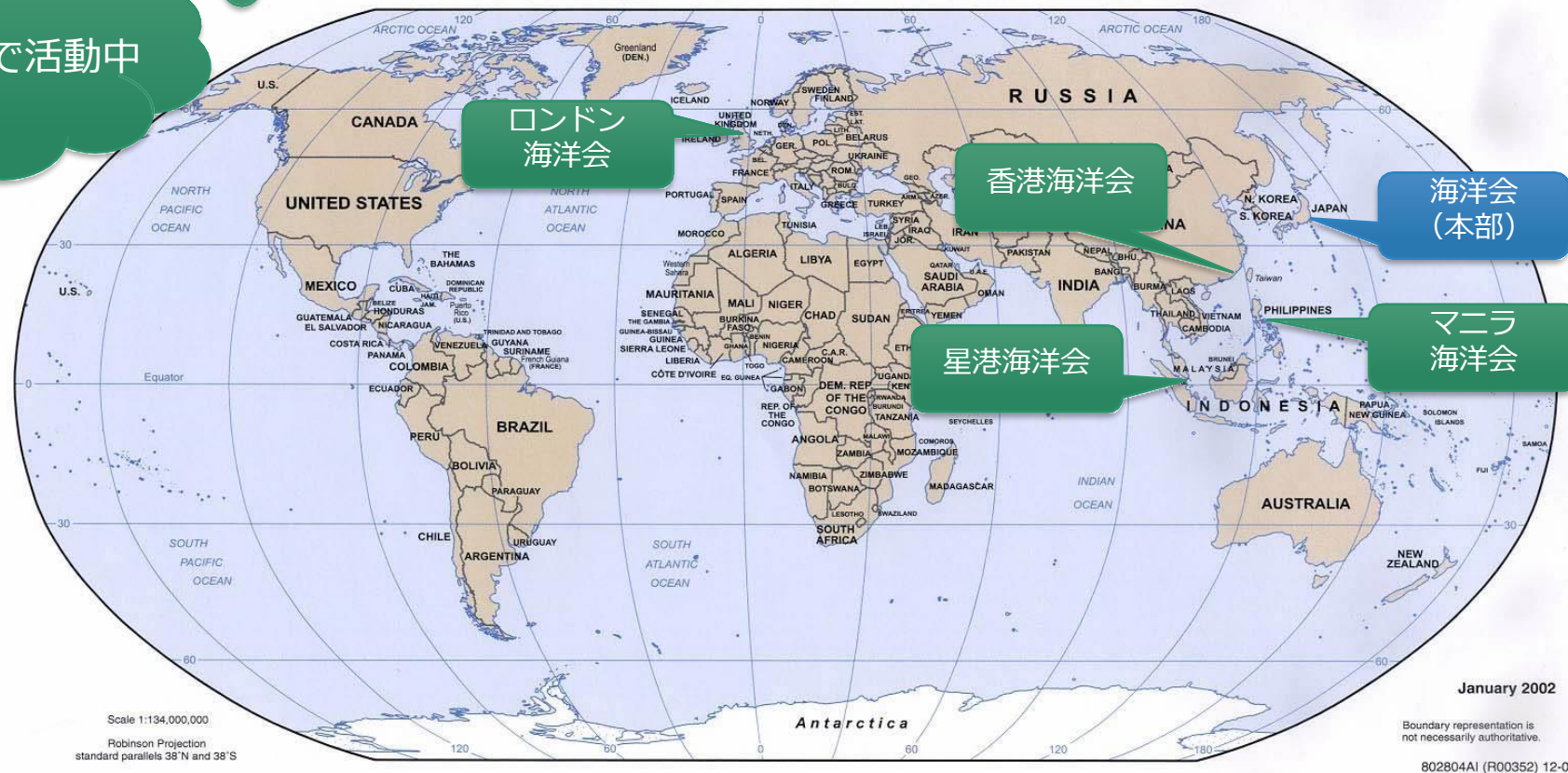
(1) 海洋会支部ネットワーク（国内）





(2) 海洋会支部ネットワーク (海外)

4 支部で活動中



P8

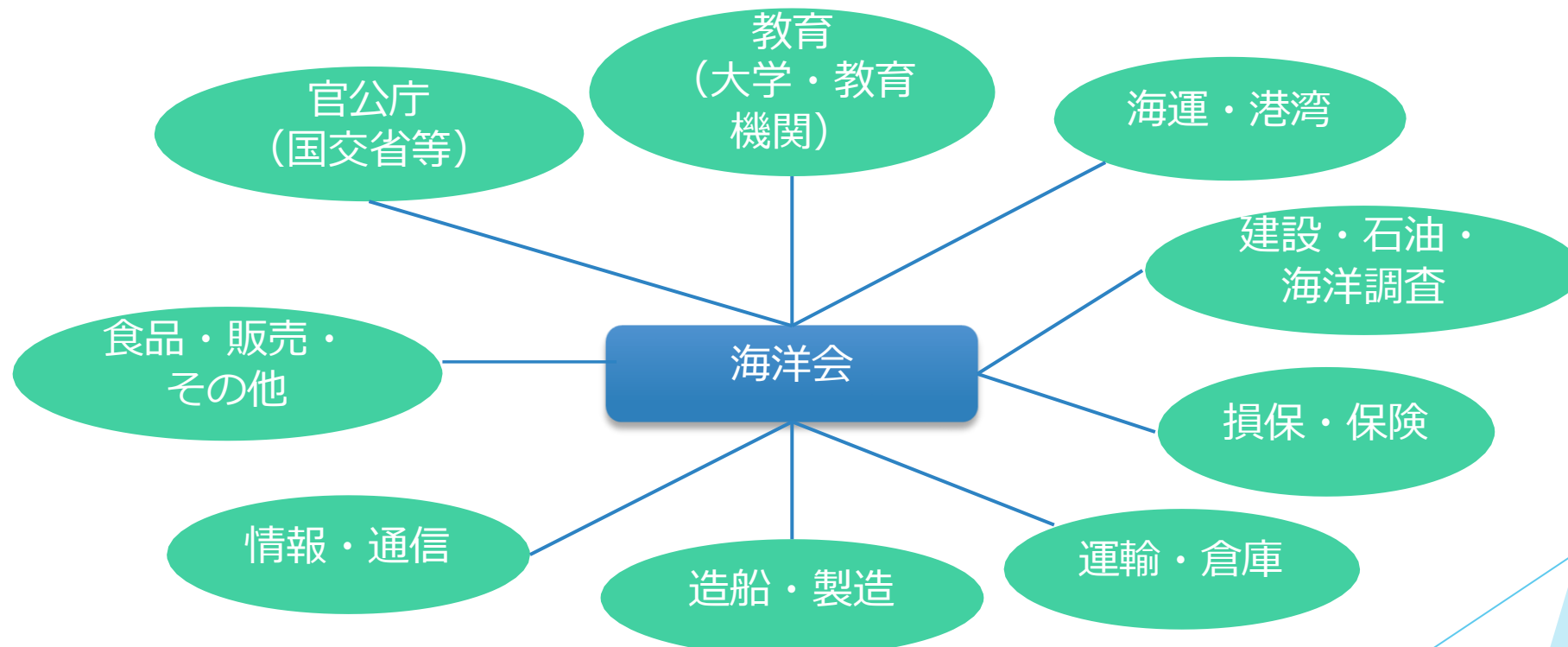
創立 (1920年)

105年

現在 (2025年)



(3) 海洋会業種ネットワーク



P9

創立 (1920年)

105年

現在 (2025年)



(4) 海洋会情報ネットワーク



P10

創立 (1920年)

105年

現在 (2025年)



(5) 海洋会情報ネットワーク

★会員名簿管理



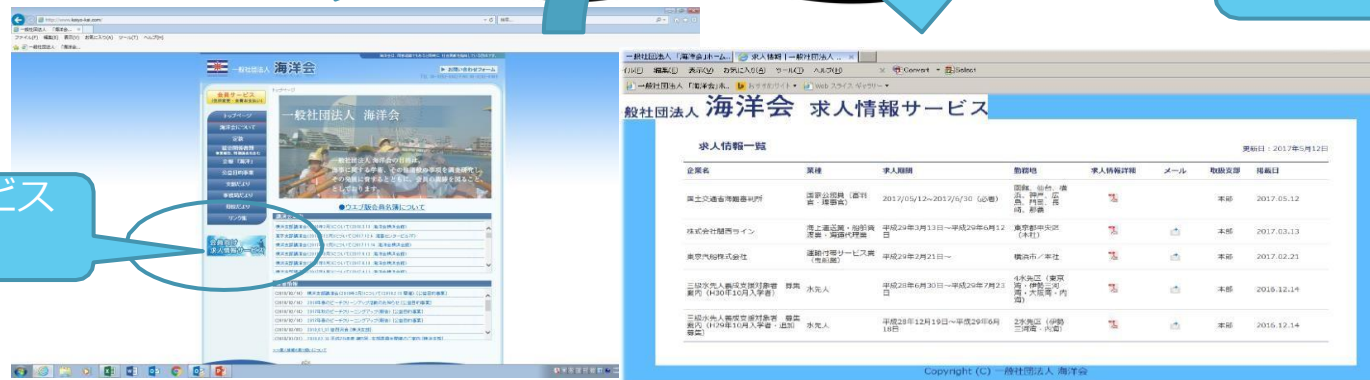


(6) 海洋会情報ネットワーク ★求人情報サービス



ID・Password
が必要!

求人情報サービス
Click



P12

創立 (1920年)

105年

現在 (2025年)



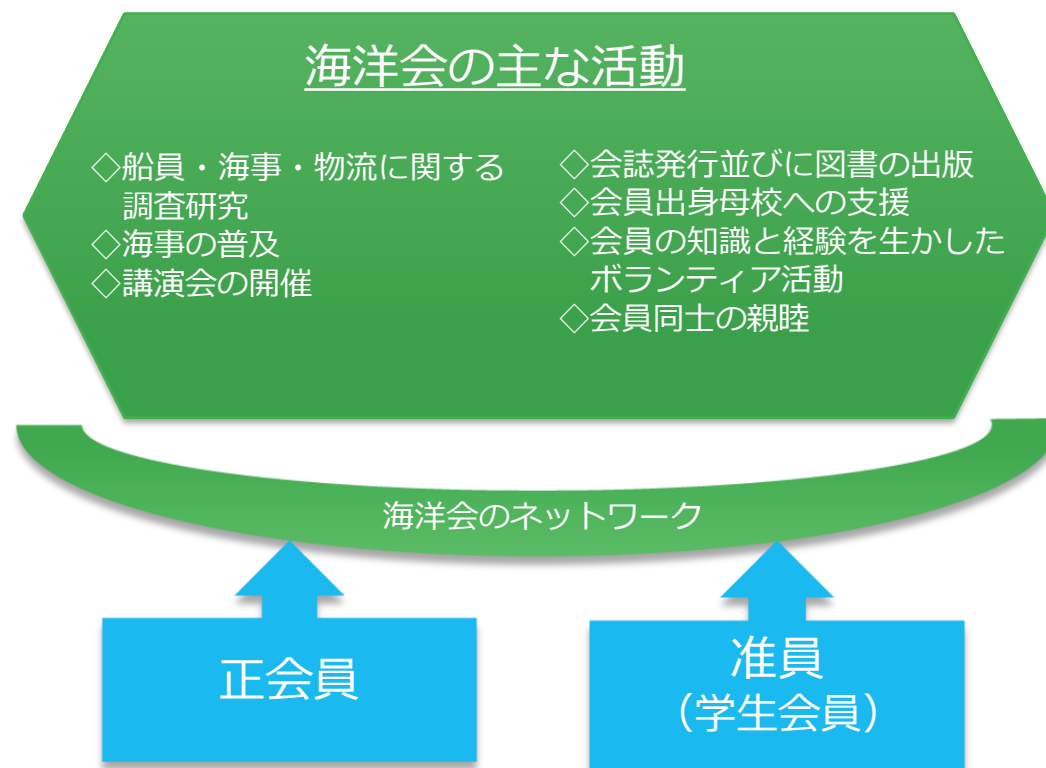
(6) 海洋会情報ネットワーク

★会誌アーカイブス (クラウドサービス)





3. 海洋会の活動



P14



3. 海洋会の活動

(1) 会誌「海洋」の発行

年3回 1月号・4月号・7月号



表紙絵作者：澤田 真歩（海洋電子機械工学科卒）
題目：一隻目で見た夕焼け



P15



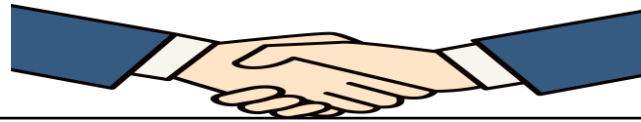
(2) 海洋会ボランティア活動

明治丸・百周年記念資料館ガイド

- ・常設展 : 原則として毎週火・木 及び第1、第3土曜が開館日
- ・特別企画展 : 原則7月の1ヶ月間のみ開催
期間中の毎週火～金の毎日 及び第1・第3土曜が開館日



P16



(3) 海洋会会長の特別講義

年1回 海洋会 会長 関根 博 氏



レジメ (2024年9月の講義)

テーマ： 船と海の世界へようこそ

【船のエピソード】

1. シェークスピア「ヴェニスの商人」は海と船の話だった
2. 太平洋の真ん中で、東西南北を正確に示す機械がある
3. ネルソン提督の旗
4. 海賊はいるの？
5. 船の燃料（機関）は、100年毎に変わる？？
6. LNG船に乗ってみよう

P17





(4) セミナーの開催

年2回 6月と12月 学生・大学院生対象

第12回 海洋会セミナー 電池推進船と燃料電池船の現状と動向

開催日時：12月2日（金）16時30分～17時30分
開催場所：東京海洋大学海洋工学部越中島キャンパス、越中島会館2階多目的教室
参加者：学部学生5名、大学院生6名、教員4名、OG1名

東京海洋大学 学術研究院 特任教授 大出 剛（東船大 E24）

1. はじめに

水素・アンモニアは、輸送・発電・産業といった多様な分野の脱炭素化に寄与するカーボンニュートラルに必要なエネルギー源とされている。2021年に閣議決定されたエネルギー基本計画でも2030年の電源構成にはじめて位置づけられるなど、2050年のカーボンニュートラル達成に向けその社会実装の加速化が求められている。船舶用エンジンでは短～中距離用には水素、長距離用にはアンモニアを位置づけている。また水素利用における船舶では小型近距離には水素燃料電池船、大型遠距離にはディーゼル代替の水素ガス燃料船としている¹⁾。

国内における燃料電池船は2014年4月閣議決定されたエネルギー基本計画に基づいて策定された「水素・燃料電池戦略ロードマップ」に明記されている。さらに2017年水素基本戦略再生可能エネルギー・水素など関係閣僚会議においてモビリティでの利用のなかで燃料電池船（FC船）の開発・導入が記載されている。国交省海事局は一般財団法人日本船舶技術研究協会に委託し、2015年度から「水素燃料電池船の安全ガイドライン策定に向けた検討委員会」を開催し、4年後の2018年第6回検討委員会において「燃料電池船の安全ガイドライン」案が提示された。国際ガス燃料船安全コード（IGF code）については、小型船舶には適用されないが、低引火点燃料に対する同codeの安全確保の考え方をガイドラインに取り込むとされている。2021年8月第1回改訂され、適用範囲が小型船舶から総トン数500トン未満の船舶になり内容も見直されている。

本稿では、燃料電池を搭載した本学の実験船



略歴

1976年 東京商船大学機関学科 卒業
1976年 横河電機(株)入社
横河電機株式会社にて、技術開発に従事後、事業責任者を歴任
2010年 東京海洋大学 特任教授 博士（工学）
急速充電型電池推進船、水素燃料電池船等の研究開発
モータ制御方式によるプロペラ駆動に関する研究に従事

「らいちょうN」（図1）を用い電池推進船、燃料電池船の概要、実用化への取り組みや動向について紹介する。

2. 電池推進船の技術動向

東京海洋大学では2009年より、船舶に搭載した電池に蓄えられた電力のみによって航行し、電気自動車に対する急速充電方式であるCHAdemoプロトコルに対応した電池推進船の開発を行ってきた。電池推進船とは、船舶に搭載した電池に蓄えられた電力によって電動機を駆動し、電動機の発生した動力によって推進機を駆動し航行する船舶である。大型客船や砕氷船など

第13回海洋会セミナー

船乗りの仕事の魅力

～ 多様性を生かす仕事に誇り ～

1. 航海士を志した理由
2. 海上勤務
3. 陸上勤務
4. 船長として働くこと
5. 学生へのメッセージ

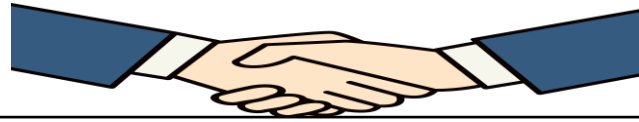
講演者：松下尚美
（東船大 MN7）

2000年 東京商船大学（現・東京海洋大学）卒内航
2006年 船員を経て商船三井に入社
2016年 船長
2023年6月 日本の総合海運会社で初めての女性船長として乗船
プライベートでは、2児の母



P18

13



(5) 海外インターンシップへの支援

年1回 8月 3年生対象

<フィリピン>



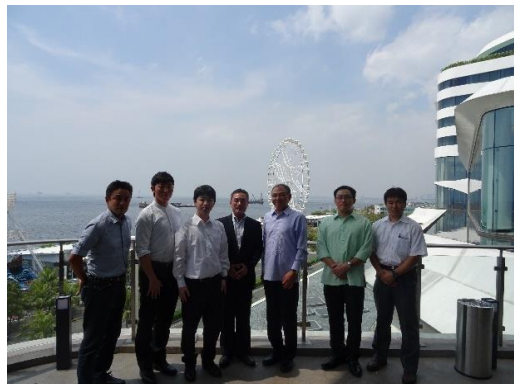
<フィリピン海洋会>

<シンガポール>



<シンガポール海洋会>

<タイ>





(6) 国内支部活動 海の日イベントへの参加

中国支部 第10回海事講演会 (2024年7月)



P20

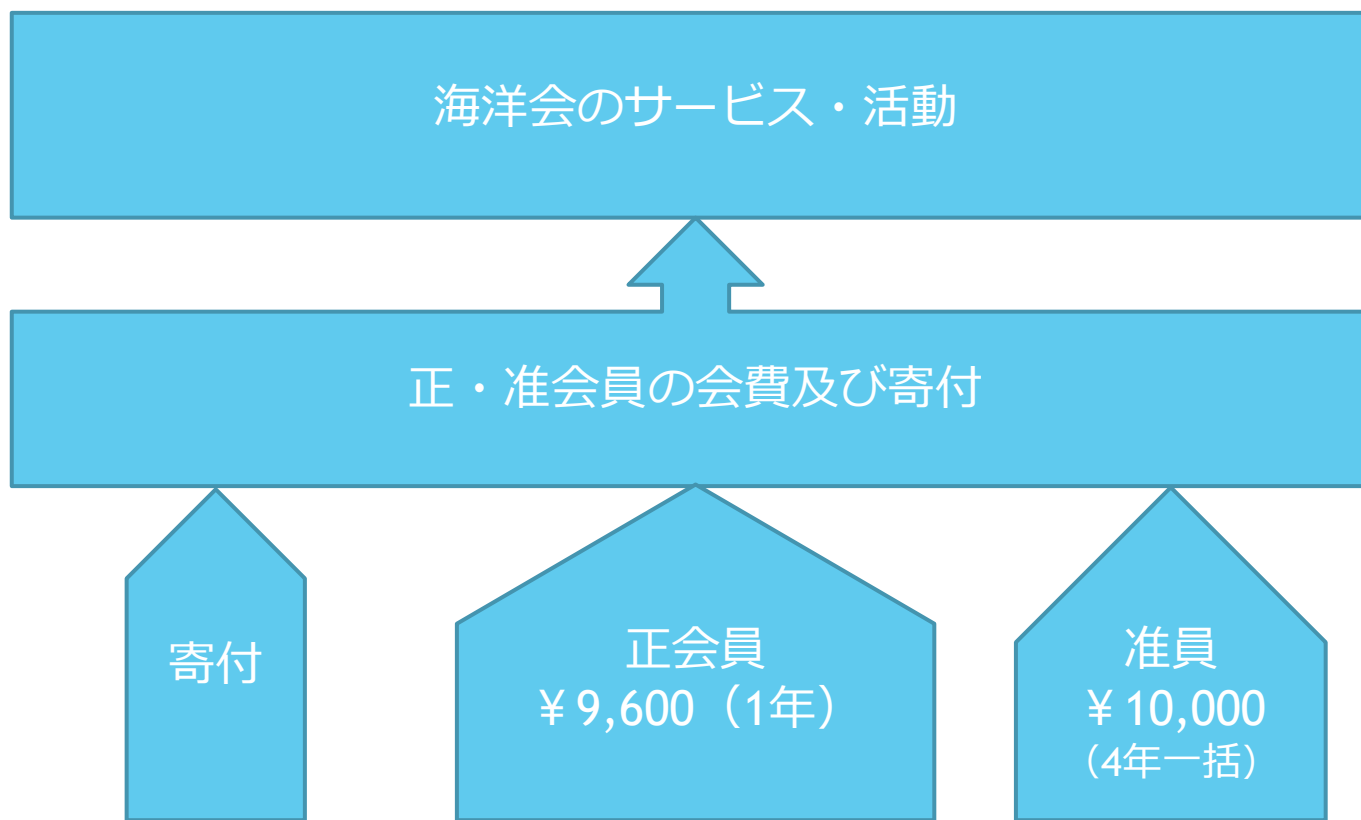
創立 (1920年)

105年

現在 (2025年)



4. 海洋会の運営



P-21

16

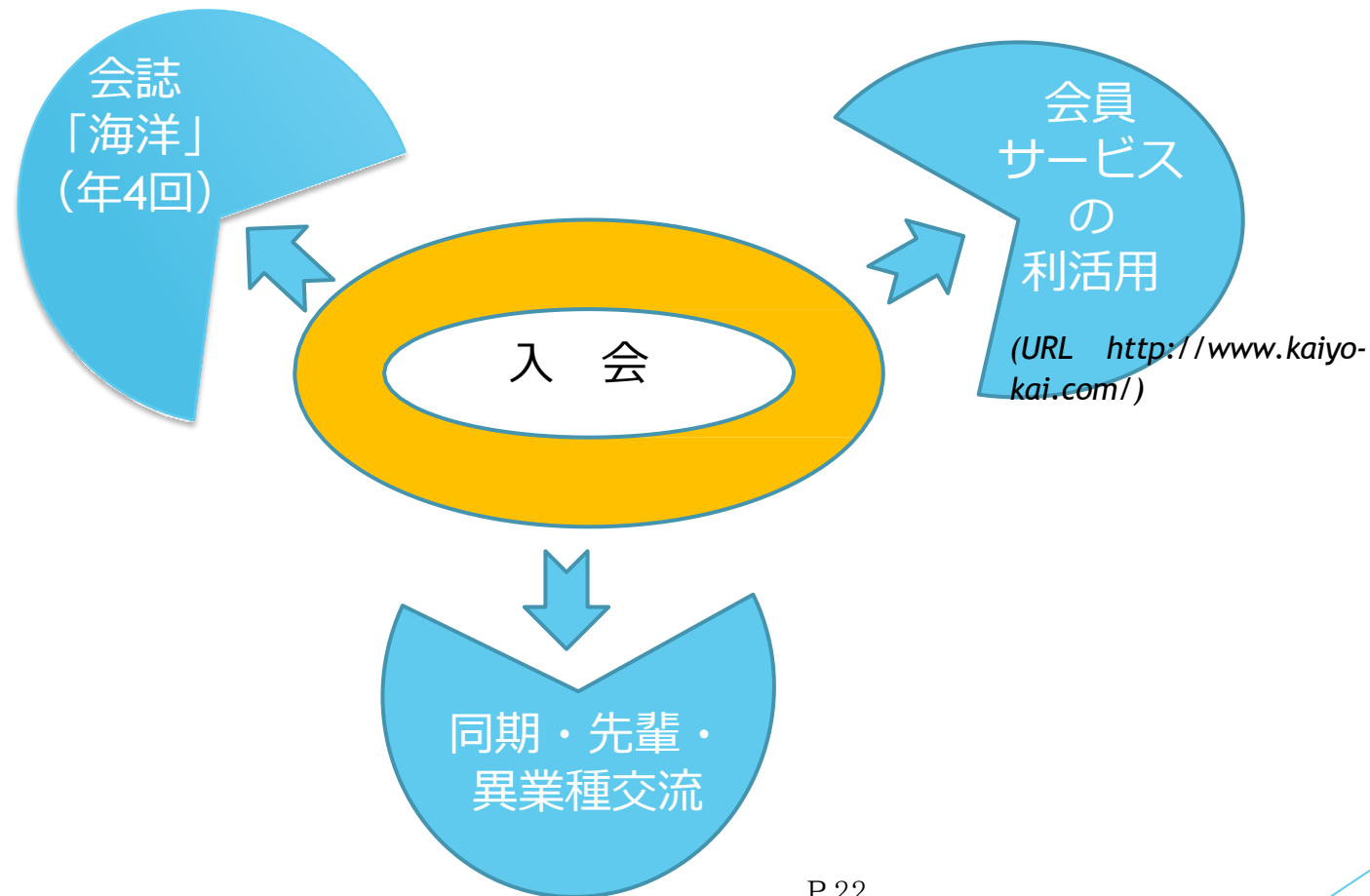
創立 (1920年)

105年

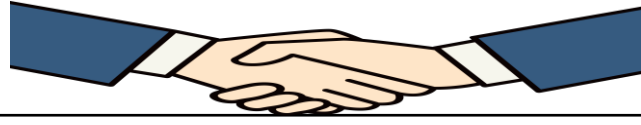
現在 (2025年)



5. 海洋会入会のメリット



P 22



6. おわりに

- ◇ 海洋会は、卒業生の活動をサポートします。！
- ◇ 入会して同窓生の繋がりを構築しましょう！

新年のご挨拶

2025年の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様はどのようにお過ごしでしょうか。

昨年はコロナ禍も落ち着き、いわゆる“日常”に戻ったことは大変喜ばしいことと思います。マスクの無い生活がどんなに良いかを改めて皆さんも感じていることでしょう。

しかしながら、昨年元日に発生した能登半島における地震、また9月には、奥能登地方に線状降水帯が発生し大きな被害となりました。

これら災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、また、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

テレビや新聞等の報道でその後の復興状況を知るにあたり、まだまだ十分な状況でなく、個人的にも大変心苦しく、できるだけ早く政府や地方自治体の復興計画が進むことを祈ることしかできません。

その中でも、復興に向けて多くのボランティアの皆さんが活動されており、その行為は大変立派であり、その内容を知るにつけ一つの清涼剤であり、改めて敬意を表します。

さて多くの会員の皆様は、会誌「海洋」から海洋会の活動を知ることになると思います、できるだけ多くの情報を会誌に掲載しております。会誌編集委員会の活発な活動もあり、会誌の内容は大変良いという評価を複数の会員の皆様からいただいております。しかしながら、会誌は年に3回の発行ということもあり、ここでは会誌ではお伝え出来なかったことをいくつかご報告したいと思います。

ご承知のように、本会では構造的に会員の漸減という大きな問題があります。これを少しでも解消すべく、学生を含む新人会員の獲得という大きなテーマがあり、昨年はこれに対し種々対策をとって参りました。

その一例を挙げますと、

- ・現役学生に対する、海洋会セミナーや企業紹介セミナーの開催、インターンシップのサポート
- ・一年生を対象とした、入学前における海洋会情報の送付、オリエンテーション、フレッシュマンセミナーの開催
- ・海王祭（文化祭）におけるブースの設置による情宣活動



海洋会会長
関根 博

このような活動が功を奏したのか、准員（学生会員）が毎年少しずつ増加しており、本会にとっては大変喜ばしいことと思います。

一方、海洋会のガバナンスを見直すという目的で次の2つの委員会を立ち上げあげました。

＜規程・内規見直し特別委員会＞

現行の規定や内規は一部現状にはそぐわない、また複数の規定間引用に齟齬があったりしています。これらを修正しようというものです。

＜資産運用委員会＞

海洋会の資産運用に関し委員会を立ち上げ、専門家の意見を聞きながら、より透明性をもって運用しようというものです。

昨年においては、会誌「海洋」でもご報告のとおり、会員相互の懇親、ボランティア活動、母校への支援、また各支部の積極的な活動、そして海技関連の情報発信などによる社会への還元といった活動が従来どおり実施されています。これら活動に積極的に携わった会員の皆様に感謝申し上げます。

これについては、本年も引き続き活動を継続するとともに、さらなる充実した活動を期待したい

と思います。

また、今まで業務等で忙しく、なかなかこのような活動に参加できなかった会員の皆様も、時間的余裕ができた方は、事務局や関係者の皆さんにご一報いただき、是非、海洋会の活動に参画いただければと思います。

会誌「海洋」への執筆もその一つであり、テーマは問いませんので、投稿を御願いできればと思います。

このように、海洋会はこれからも、会員の皆様と上記に示す活動を積極的に進めていくことが大きな使命であると考えており、是非、多くの会員の皆様の参画、そしてご支援を御願いしたいと思います。

最後に会員皆様のご健勝とご多幸を祈り、新年のご挨拶とします。

今年も会員皆様にとって良い年でありますように。

新年のご挨拶

東京海洋大学 海洋工学部長
博士（工学） 元田 慎一



みなさま新年あけましておめでとうございます。
昨年は元旦の能登半島地震にはじまり、各地での集中豪雨の被害が発生し、特に北陸地方への度重なる被害は甚大であり被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。みなさまの安心した暮らしが一日も早く戻ることを祈念申し上げます。

大学と同窓会のかかわりについて

昨年は本部の越中島キャンパスへの移転があり、従来に増して同窓会の活動を実感しております。特に、各種講演会、セミナー等を通じて、内外の海事関連企業のご紹介ならびに学生の就業マインドの醸成にご尽力をいただきました。特に学生のインターンシップについては海洋会を通じてのご紹介、受入にご協力いただきました。通常のインターンシップ以上に海洋会OB・OGの皆様には親身で熱意のある受入れをいただいていると聞いております。今後もより多くの本学学生を受け入れていただけますよう、お願い申し上げます。

学部の状況

2024年の1年間の本学部の状況をご報告申し上げます。教育改革として海洋大全体として4月より4学期制を開始しました。商船大・海洋大を通じて行っていた前期・後期の2学期制を4学期制にしました。1コマ105分の授業にして第1から第4の4つの学期に区切り、それに伴い8・9月を夏季休業期間としています。学年進行で進めておりますので4月からは約半分の学生が同制度の適用になりますが、今後、問題点の洗い出し等を行いながら学生のよりよい教育システムを構築

して行く所存です。

海の研究戦略マネジメント機構の設置

産官学の連携強化を目的として、昨年3月に海の研究戦略マネジメント機構（略称MSスクエア）を設置しました。これは大学の研究開発の成果を実社会へより多く展開するための研究マネジメントを行う新しい組織です。技術相談受付窓口や共同研究を担当する専門スタッフもおりますので、広くご利用頂ければ有難く存じます。

次世代船舶運用技術開発センターの設置

本学では、新たな船舶の運航・運用ニーズ、ならびに新燃料対応への技術開発にと人材育成を目的として概算要求を行い、4月から「次世代船舶運用技術開発センター（仮称）」を設置する予定でおります。本センターでは技術開発や人材育成についても海事関連産業のみなさまとコンソーシアムを構築する方向で各機関と協議しておりますので、船社をはじめ関係企業のみなさまにご支援・ご協力をお願いすることがあると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

海技教育のあり方について

本学部では国交省の「海技人材確保のあり方に関する検討会」に参加し、優秀な船舶職員養成・確保の方策についても議論しております。本学部にとって船員養成は重要なタスクの1つであり、それに基づいた教育を行っておりますが、海事関連企業におられる会員のみなさまには、若者が憧れるような社員像を創造し、これを広報していただけますようお願い申し上げます。

明治丸の活躍の軌跡

～御巡幸、小笠原航海、海の日制定、船員教育～

東京海洋大学名誉教授 庄司 邦昭

明治丸の横浜到着後から越中島キャンパスのポンドに係留されるまでの航海についてまとめた。その中には、御巡幸、小笠原航海、海の日制定、船員教育に関して、さらに本来の活動である灯台巡視航海が特に注目される。ただし船員教育についてはポンドに係留され、大学（商船学校）の所属になってからの活動である。

1. 御巡幸としての航海

明治丸は当時最新鋭の船であったため、灯台視察船としてだけでなく、明治天皇の御巡幸に際してお召船となった。

日本到着直後の明治8年（1875年）3月5日には横須賀造船所行幸の際の還幸のお召船となった。この造船所からの帰りの航海が明治丸に明治天皇が乗船されたはじめての航海であろう。

北海道東北御巡幸に際しては、明治天皇は函館で明治9年（1876年）7月18日7時30分に税関波止場より短艇に乗船し、明治丸へ移乗された。明治天皇は、船の揺れに悩まされ、終日食膳を取り給わず、糯米道明寺・レモン水を進められた。7月19日は船の動揺が18日よりさらに増した。20日に動揺は少々平穏になり、午前10時犬吠埼通過、午後4時布良岬沖通過、そして午後8時10分に先着した春日を従え横浜港に入った。

昭和16年（1941年）5月19日の定例次官会議で、明治天皇が横浜港に無事帰港された7月20日を「海の記念日」として制定することが決定された。逓信大臣の村田省蔵は次のように述べている。

「・・・而して7月20日と決定するには色々と考えられた。第一に記念日は冬ではいけない。夏でなくては海に出る人間が少ないことが一つ。今一つは学生諸君に海の思想を大いに吹き込みたい。それには学生の休みの時がよい、ということを先ず考えた・・・」



略歴

1992年 東京商船大学 教授

2011年 東京海洋大学 名誉教授



写真1 函館港に停泊する明治丸（中央、2本マストの大型船）

2. 小笠原領有確認航海

明治8年（1875年）11月21日から12月16日まで、小笠原諸島の領有権を確認するための航海を行った。



写真2 小笠原二見湾に停泊する明治丸(左)とカーリユー(右)

明治8年(1875年)11月21日に横浜を出航し、24日朝に、父島の二見湾に入った。船長ピーターズ、担当官として外務四等出仕の田邊太一、租税権助の林正明、海軍大尉の根津勢吉、地理寮七等出仕の小花作助らが乗船していた。

24日午後、ホーレスセボリー、トーマスウェップ、ジョージブラボーら主だった島民13名が船上に招かれ、船尾のサロンで田邊太一は文久元年の小笠原回収に則り統治を再興する旨を伝えた。島民側も今後日本政府の保護を受け、その法令規則を遵守するという誓約書にサインして小笠原再回収のセレモニーは終了した。

イギリス船のカーリユーは明治8年(1875年)11月22日午前9時に横浜港を出航、Church艦長、英国公使Russellが乗船していた。1875年11月26日に二見湾に投錨し、同乗したロバートソンは明治5年(1827年)に英国軍艦ブロッサム(Blossom)の艦長ピーチーが残した英国国王の領有を書き記した銅板を島民の家で発見したが、日本政府調

査団との会談でも持ち出すことはなくカーリユーにて横浜に帰った。

3. 灯台視察航海

明治丸の航海記録を見ても、横浜に回航された明治8年(1875年)から係留練習船となる明治34年(1901年)までのほぼ全期間に亘り、日本国内あらゆる沿岸を回り、建造当初の目的である灯台の視察、灯台や浮標の設置、などの航海を行っている。ときには遭難した船の救助活動も行っている。

4. 船員教育

明治34年(1901年)に明治丸が係留練習船として越中島のポンドへ来てからは船内、船上、船の周辺で、様々な実習教育が行われた。六分儀による観測実習、帆縫実習、展帆実習、甲板清掃実習、外板の塗装実習、機関実習、更に明治丸周辺での短艇実習、帆走実習などである。

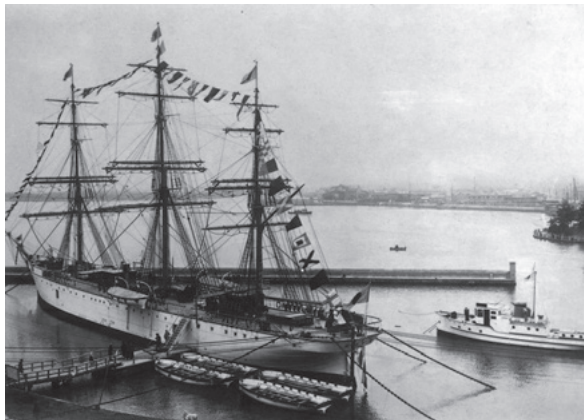


写真3 満船飾の明治丸とやよひ丸、ピンネス(昭和10年頃)

うみそら研の紹介

～ひそかに憧れていた東京の西側で過ごすことへの想いから、転職？を決めました～

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所理事長 庄司 るり（東船大 N34）

1. はじめに

2023年4月から国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所（以後、うみそら研と記します）の理事長を拝命し、片道2時間の通勤時間にめげながらも三鷹の地で勤務しています。1982年4月に東京商船大学商船学部航海学科（34回生）に入学から42年（大学教員としては31年）関わった大学を離れることはとても心細かったのですが、教育・研究や学会活動等で馴染みがあった組織でもあり、研究所と大学とのパイプを少しでも強くできればという気持ちと、ひそかに憧れていた東京の西側で過ごすことへの想いから、転職？を決めました。大学と研究所の違いや文部科学省と国土交通省の風土の違いに戸惑いながら1年間経ってしまった、というのが正直な感想です。特に最初の半年は、体調を崩した母親の介護対応に追われながらてんやわんやで過ごしていました。せっかくの機会を頂きましたし、海洋の読者の皆様にはうみそら研に馴染みのない方もいらっしゃると思いますので、うみそら研の紹介をさせていただきます。

ただ、まずはお礼をさせてください。大学入学時から先輩・同級生・後輩の皆様には大変お世話になり、とても温かく、たまに厳しくも、いつも気にかけていただき、ご指導・ご支援いただきましたこと、心より感謝しております。大学入学当時は、こんなに長くこの世界（船関係）に関われるとは想像もできませんでしたが、皆様のおかげで楽しく精一杯の努力をさせていただけたのだと思っています。本当にどうもありがとうございます。

2. 国立研究開発法人としてのうみそら研

では、うみそら研の紹介をさせていただきます



略歴

- 1986年 3月 東京商船大学商船学部航海学科卒業
- 1986年 9月 東京商船大学乗船実習科修了
- 1989年 3月 東京商船大学大学院商船学研究科修士課程修了
- 1989年 4月 株式会社オーシャンルーツ入社
- 1992年10月 東京商船大学航海学科助手
- 2010年 4月 東京海洋大学海洋工学部海事システム工学科准教授
- 2012年 4月 東京海洋大学学術研究院海事システム工学部門教授
- 2019年 4月 東京海洋大学副学長
- 2021年 4月 東京海洋大学理事・副学長
- 2023年 4月 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所理事長

す。正式名称は最初に記載の通りで、通称『うみそら研』とされているのですが、後述する理由からこの通称がなかなか浸透しておらず、あらためて周知を図っているところですので皆様にも親しんでいただければと思います。英語表記は、National Institute of Maritime, Port and Aviation Technology で、MPAT と略しています。

うみそら研は、運輸産業の国際競争力の強化や海洋の利用推進等を技術面から支えるため、8年

3. 政策体系における研究所の位置付け及び役割（ミッション）

本章をまとめたものを図2に示していますが、図の方が分かりやすいかもしれません。

国は、我が国が直面する多様かつ重大な課題の解決のため、交通政策基本計画、国土強靱化基本計画、社会資本整備重点計画、海洋基本計画、国土形成計画、科学技術・イノベーション基本計画、地球温暖化対策計画等の基本計画を策定し、国民の安全・安心で豊かな暮らしを実現することを目指しています。

これらの国の基本計画に沿って、国土交通省は、公共交通における安全・安心の確保、激甚化・頻発化する自然災害やインフラ老朽化の進行への対応、海洋の産業利用、航空需要拡大への対応、我が国産業の国際競争力の強化、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けた取組、デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展など、多様かつ重大な課題に対する様々な政策を実施しており、これらの政策を効果的かつ効率的に実現していくため、国土交通省技術基本計画を定めています。

そして、我が国が直面する多様かつ重大な課題の解決のため、上記の国土交通省技術基本計画等に基づき、国土交通省が推進する政策の実現に貢献していくことが、うみそら研の役割（ミッション）となっています。

4. 研究開発の成果の最大化

以下の4.1～4.6に、第2期中長期目標期間における研究開発の成果の最大化を図るための取り組みを紹介します。4.2～4.4は、2章に記載の「一定の事業等のまとまり」である研究所ごとの説明となります。各研究所には、国土交通省が推進する政策への技術的支援に対する適切な成果を創出し、関係機関を含めた幅広い技術課題の解決を図ることという『責務』があり、各節に記載する研究に重点的に取り組んでいます。独創的または先進的な発想に基づき、研究所の新たな研究成果を創出する可能性を有する萌芽的研究に対しては、先見性と機動性を持つ的確に対応しています。なお、各節で一つずつ、著者の独断と偏見での興味がある研究例を紹介しますが、その他の研究や施設の詳細につきましては前述のHPでも紹介していますので是非ご覧いただければと思います。

4.2～4.4の取組と連携し、または各分野共通して実施するものとして、4.1、4.5及び4.6を紹介します。

4.1 分野横断的な研究の推進等

海洋の利用推進、我が国産業の国際競争力強化といったテーマは、うみそら研の3研究所が保有する技術と知見を効果的にかつ最大限に活用して取り組むべき政策課題となっています。そのため、3研究所の研究領域にまたがる分野横断的な研究を効率的かつ効果的に実施し、その政策の実現に貢献することを目指しています。具体的には、以

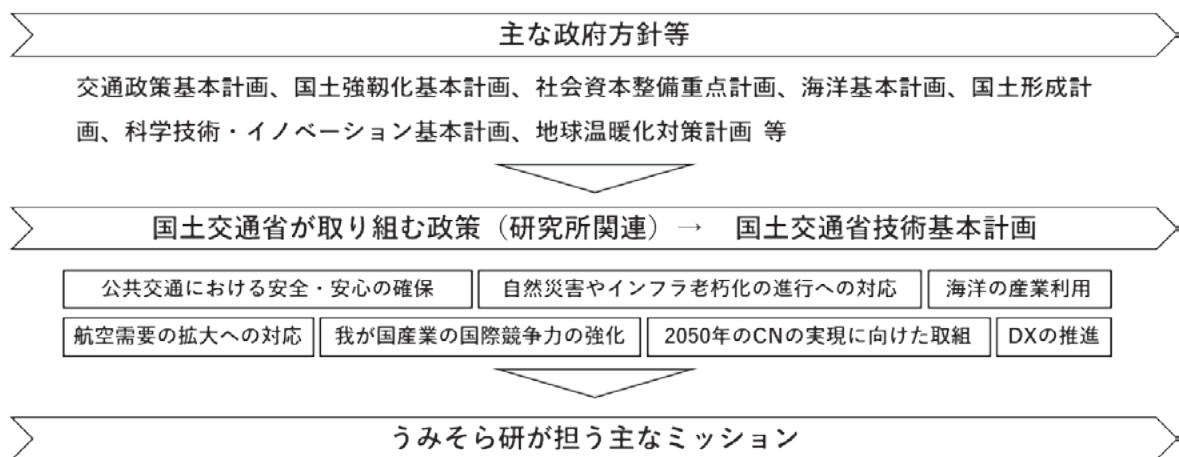


図2 政策体系における法人の位置付け及び役割（ミッション）

東京海洋大学海事普及会 気仙沼における「海と船の教室」

代表 山内 茉莉

海事普及会は、毎年、地方の小学校に出向き、海と船について興味関心を持ってもらうことを目的に「海と船の教室」という出張授業を開催しています。

今年は、宮城県気仙沼市立津谷小学校様よりご依頼いただき、2024年6月10日（月）に「海と船の教室」を開催いたしました。

気仙沼市は、東京海洋大学と深いつながりがあります。例えば、東京海洋大学のサテライトが気仙沼にあることや、震災翌年に、神鷹丸が気仙沼港に寄港したこと、2012年、2019年に当会が出張授業を行ったことなどがあります。

また、気仙沼市は陸の孤島とも呼ばれるように、周りを山に囲まれています。津谷小学校の先生から、東北新幹線の仙台駅もしくは一ノ関駅から車で移動の方が便利だと教えていただき、東北新幹線一ノ関駅からレンタカーで気仙沼市街まで移動することにしました。

授業前日、一ノ関駅でレンタカーを借りた後、市街を出ると、すぐに山が見え、いくつかの峠を越えながら進んでゆきました。気仙沼市街についた後、宿泊ホテルに直行し、部員同士で、教師役・生徒役を分担して、時間配分のシミュレーションや反応の違いに応じた柔軟な対応を行うことなどの翌日の授業を想定した練習を行いました。

翌日、小学校の2時間目をお借りして授業をするため、朝8時30分にホテルを出て車で津谷小学校まで行きました。津谷小学校のある本吉町は、気仙沼市街地から三陸沿岸道路を10kmほど南下したところにあります。三陸沿岸道路は2011年に発生した東日本大震災の被災地を結ぶ道路で、2021年12月に全線開通したばかりの復興道路です。

9時頃に津谷小学校に到着し、早速、授業を開催させていただき体育館にお邪魔しました。

今回は、小学4年生の児童約30名に向けて教室を開催しました。最初に、プロジェクターを使



用して東京海洋大学と海事普及会について紹介し、普段の授業や乗船実習について、海事普及会で行っている活動などを簡単に説明いたしました。東京海洋大学での紹介では、「さかなクン」のお名前を出すだけで、ほとんどの児童の皆さんが興味を持ってくれるので、「さかなクン」のネームバリューのすごさを改めて実感いたしました。

大学と当会の紹介の後、近年注目されているSDGsに絡めて、授業を展開し、船が生活・経済を支える物資のほとんどを運んでいること、必要不可欠な存在の船であるからこそ環境にやさしい取り組みを行うことの大切さを説明いたしました。そして、船自身が環境保護への取り組みを行っており、風を用いた運航や、アンモニアを用いた燃料を用いていることなども紹介いたしました。児童の皆さんは、スライド1枚1枚をじっくりと見ながら真剣に聞いてくださり、私たちも大変嬉しかったです。

次に、手旗信号についての紹介と手旗信号の実演、体験活動を行いました。まずは、実演として、津谷小学校に関連する言葉を部員が打ち、手旗信号がどのようなものかを見本で説明しました。児童の皆さんにも実際に1人1セット手旗信号を渡し、見本で示した文字を打ってもらいました。その後、2択クイズで、部員がどちらの言葉を打っ

越中島カッター部 OB・OG 会

2024 年度総会・懇親会が開催

千葉 元（東船大 N35）

令和6年9月21日（土）に東京海洋大学海洋工学部越中島キャンパスにて、越中島カッター部 OB・OG 会による、2024 年度 総会及び現役学生を交えての懇親会が開催されました。当日のスケジュールは以下の通りでした。

試乗会：10：30～11：30（ポンド前に集合→
隅田川河口から周辺水路を漕いで周遊）

総 会：12：30～13：00（キャンパス内のマ
リンカフェ）

懇親会：13：00～15：00（キャンパス内のマ
リンカフェ）

当日は、ちょうど猛暑の時期も過ぎ、多少に秋の気配も見られ、試乗会には適当な日でした。ここには、30～36 回生の OB が 7 名参加し、現役学生と共にカッターを漕ぎました。カッターが係留されているポンドや貯木場跡がある隅田川河口の辺りは昔と大きく変わりはないものも、周囲にはスカイツリーや多くの高層ビルやタワーマンションが見えていて、OB 達は「昔の景色はどうだったかな。。。という感じでした。写真のように、殆どが 60 歳以上の OB 達は、学生と共に、昔を思い出しながら、声をあわせて漕ぎました。「櫂組め！」の号令後には、ちょっと一休みしつつ、OB と現役学生との歓談を持つこともできました。



OB と現役学生による力漕！



「櫂組め！」の号令後に、しばしの歓談

試乗会後、マリンカフェに移動して、OB・OG 会総会を開催しました。（その隣では現役学生に懇親会の準備を行ってもらいました）参加者は、13～66 回生の OB15 名でした。ここでは、OB・OG 会員の状況、会計報告、今年度の支援予定等についての討議を行いました。

そして、予定通りのほぼ 13 時より、参加 OB と現役学生による懇親会が開催されました。ここで、まず、カッター部主将及び女子カッター部主将より、それぞれの活動報告が行われました。これについて、OB・OG 会より、大会のスケジュールや必要な支援に関する意見交換等が行われました。そして、OB・OG 会の中野弘隆会長（E31）の乾杯の音頭により、立食パーティが開催されました。ここには多くの 1～3 年生の現役学生が参加していて、参加していた OB 達と多くの懇談を楽しく行うことができました。今後の新人戦や来年の全日本大会に向けての激励、また学生達が思う将来につい

でのアドバイス等の話が各所で盛り上がっていました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後のご挨拶は、参加OB中の最年長で、現在も明治丸ボランティアで活躍される佐藤勝二郎先輩（E13）をお願いをしました。佐藤先輩からは、「海洋」2024年7月号にも掲載されている第六回全日本カッター競技大会（昭和37年5月27日）において優勝された時のレースの思い出をつづった

「詩・鉢巻」（E13 飯野賢輔様作）を朗読して頂きました。

最後に越中島カッター部の定番である、寮歌「ああ月明は淡くして」を皆で歌い、「次年度の全日本大会優勝!!」を皆で祈願して終了となりました。また来年の同時期に、こうした試乗会・総会・懇親会を行いたいと考えていますので、越中島カッター部OB・OGの皆様には多くのご参加を頂ければと思います。



越中島カッター部定番「ああ月明は淡くして」の円陣合唱



E13 佐藤氏による
「詩・鉢巻」の朗読



参加者全員で記念撮影

参加者

（東船大）

E13 佐藤勝二郎	E28 原 良治	N30 石井 実	N30 酒井 真一	E31 中野 弘隆
T2 (31) 小堤 健一		N32 森 和仁	E33 佐藤 誠	E34 松崎 範行
N35 磯崎 研介	N35 千葉 元	N36 竹内 晃治	E40 中村 昭敏	

（海洋大 2014 年入学）

66 伊藤 友希 66 松尾 海流

ある女性航海士の航海記 (20)

～貨物について< 3 >～

航海士 鈴木ひろか

東京海洋大学 2013 年卒業 (第 6 回生)
(東京海洋大学大学院 2015 年修了)

2019 年に連載を開始した当コラムですが、第 20 回目を迎える事が出来ました。

今回は荷下ろしの続きを書いていきます。学生の皆さんや乗船経験のない方の中には「荷下ろし＝貨物を全部下ろす」というイメージがありませんか？ケミカルタンカーの場合はタンク数が多いため、1つのバースで全タンクから荷物を下ろすのではなく、「①幾つかのタンクのみから下ろす」という事が多く、更には「②1つのタンク内から取り決められた量のみ下ろす」という事もあり、1つのバースで全貨物を下ろすという事は（その時のオペレーション状況次第ですが）非常に稀です。

①の場合、下ろすべきタンク内のポンプをCCRで操作します。同時にバラスト調整をし、海水がオーバーフローしないように見ておきます。貨物の残量が少なくなってきたら、Loading Masterに無線で知らせていきます。デッキにいるクルーはマニホールドとタンクサイドのバルブでスタンバイします。残量がほぼなくなった時点で、ストリップングという、貨物を出来るだけ綺麗に下ろすための作業を行い、それが終わるとバルブを閉め、ポンプも止めます。最後にSurveyorがタンク内の貨物を全部下ろした事を目視で確認します。この時、危険物でなければタンクを開けますが、危険物の場合にはサイトグラスから覗き込みます。

②の場合、計算をしながら貨物を下ろします。例えば、あるタンク内から100MTのみの貨物を下ろす場合、タンクのゲージが何mになったら止めるという目安、「Stop Gauge」を予め計算しておきます。mと書きましたが、ゲージはmm単位の世界で、小数点第三位までゲージが表記されます。目標の高さ付近になると、クルーはマニホールドとタンクサイドのバルブでスタンバイし

ます。CCRではポンプ操作をし、デッキにいるクルーに指示をしてバルブ操作も行います。目標の高さまで下ろした時点で、バルブを閉めて、ポンプを止め、C/OとSurveyorが計算をします。ここで100MT丁度下ろせていれば、そのタンクの荷下ろしは終了となりますが、まだ98MTだった場合には2MTを下ろす必要があります。100MTになるまで、これを繰り返します。

荷下ろしが終わると、CCRでは書類を作成し、デッキではホースを取り外すといった、手仕舞い作業を行います。全貨物を1つのバースで下ろさない場合には、①' 同じ港内の別バースにシフトする、若しくは、②' 出港して別の港で下ろします。私が乗船していた船は①' となる事が多く、数時間で数タンクのみ下ろして、5バース程シフトする事が多かったです。いずれにせよ、荷下ろしが終わると直ぐに出港になるので、荷役終了時間目安(ECT)に近付くとパイロットステーションに当直航海士がパイロット乗船時間を確認します。船長やE/Rには前広にECTを伝えて、スタンバイする船員を起こし、バースシフト（出港）準備をします。非常に慌ただしいですが、安全第一という意識を持ち続ける事が大切です。



甲板作業中

母校だより

越中島

令和6年度も早半年が過ぎました。越中島キャンパス内でも毎年と同じく、銀杏や落ち葉が多くみられる季節です。(2024年10月末の執筆時点の状況です) 前回の母校だよりから今までに大学にて実施された、いくつかの行事に関して報告致します。

◎海の日 記念行事

今年度も東京海洋大学では、一般の方々を対象



海の日記念行事のパンフレット
(大学ホームページから)

に海に親しみ、興味を持って頂くことを目的に海の日記念行事を開催しました。本年度は令和6年7月15日に越中島キャンパスと品川キャンパスで開催されました。海の日制定の由来となった重要文化財「明治丸」に関するシンポジウムや、プラネタリウム上映会、工作教室、ポスター展示、研究室公開、マリンサイエンスミュージアム特別公開等、本学の教職員や学生による様々なプログラムが実施されました。

越中島キャンパスでは、第20回明治丸シンポジウム「明治丸150年の航跡 明治丸の生い立ちと活躍、そして修復と未来」と題して、江東区長や国交省国土交通審議官をお招きしたシンポジウムが行われました。講演は、名誉教授である、矢吹英雄先生、庄司邦昭先生、刑部真弘先生に様々な視点からの話題提供となるご講演を頂きました。

海洋会の方々でも参加頂いた方が多くいるかと存じますが、越中島キャンパスの記念行事来場者は989名であり、今年度も盛況な記念行事となりました。



第20回明治丸シンポジウムの案内
(大学ホームページから)

◎令和6年度9月期学位記・修了証書授与式

9月27日に、9月に卒業、修了する卒業生、修